

第5学年 社会科学習指導案

日 時：令和5年11月22日（水）公開授業Ⅱ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校5年2組 34名

授業者：八重樫 陸

1 単元名 未来をつくり出す工業生産（小学社会5 教育出版）

小単元名 日本の工業生産の今と未来

2 単元の目標

- (1) 我が国の工業生産の概要や、工業生産が国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 [知識及び技能]
- (2) 我が国の工業生産の概要や特色、工業生産が国民に果たす役割を多角的に考える力、工業生産に見られる課題を把握してその解決に向けて多角的に考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元について

(1) 児童について

本学級は、社会科の学習において、身近な生活と関連付けて意見を話したり、新たな発見に関心をもって追究を進めたりと意欲的に取り組む児童が多い。これまで、教科書や地図帳などから資料を集め、それを基に調べて課題解決を行う学習を続けてきた。資料を読み取って分かったことを記述するだけでなく、複数の資料を関連付け、根拠を基にして自分の考えを書くようにしてきているが、個人差がある。

また、対話場面においては、自分の考えを発表するだけに終わらず、さらに深まるようなやり取りをさせてきたが、発言などが一部の児童に偏ってしまい、自分の考えに自信をもてずにいる児童が多くいる。

ICTの活用については、電子黒板での資料提示、ロイロノートを活用した資料の送信や児童の考えの共有を行ってきた。ICT活用の際は、ICTの利用自体が目的にならないよう、ねらいを達成するための手立てとして有効であるかに留意して取り組んでいる。

(2) 教材について

本小単元は、大単元「未来をつくり出す工業生産」の中の小単元であり、学習指導要領第5学年の内容(3)を受けて設定している。「様々な工業製品が国民生活を支えていること」「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」について調べ、「我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えることができるようにすること」がねらいである。

日本は、世界有数の工業国であり、高い技術力に支えられた工業製品と、それを基にした加工貿易が大きな特徴である。しかし近年、円高や新興国の発展、環境へ意識の高まりなどにより、我が国の工業は転換期を迎えていると考える。このような我が国の工業生産の変化を捉え、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることを通して、これからの日本の工業生産について関心をもつきっかけとしていきたい。

(3) 指導について

本小単元では、身の回りの工業製品や工業が盛んな地域の分布、中小工場の優れた技術力・発想力、海外生産の影響について資料から読み取らせ、それをもとに交流していく。また、工業生産が国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを捉え、今後の日本の工業生産の在り方を多角的に考えることができるようにしていく。

まず、単元の導入では、身の回りの工業製品の産地や工業生産額の変化などを資料から読み取り、

日本の工業生産の特色について問いをもたせ、単元を貫く学習問題を設定していく。また、どのようなことを調べていくか計画を立て、単元の見通しをもたせる。

次に、問題解決を行う段階では、工業が盛んな地域の分布、中小工場の優れた技術・発想力、海外生産の影響について各種資料で調べ、日本の工業生産の特色や現状を捉えさせる。その際、グループでの調査活動、映像資料の活用、どの資料をもとに調べたらよいかの助言を行い、資料の読み取りが苦手な児童への手立てとしていきたい。

単元のまとめでは、「日本の工業生産の特色」として調べて分かったことをカードにまとめていく。また、これまでに得た知識をもとに、これからの工業生産の発展のためのアイデアを考えさせ、今後の工業生産の在り方について主体的に関わっていく態度につなげていく。

単元全体を通して、複数の資料を関連付けて読み取り、根拠を基に自分の考えを「書く」活動や、グループで話し合うことで考えを補ったり、全体共有の際に教師側の切り返しなどによって考えを深められたりするような「対話」活動を設定していきたい。

また、ICT 機器を活用し、電子黒板での写真などの資料提示や、調査活動の際の児童タブレットへの資料送付など、学習の手掛かりとなるようにしていく。さらに、児童がノートやカードにまとめたことを全体共有などの対話場面でも有効的に活用していきたい。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などについて、地図帳や地球儀、統計などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の概要を理解している。 ②調べたことを文や白地図などにまとめ、我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること、工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解している。	①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良や開発などに着目して、問いを見いだし、工業生産の概要や特色について考え表現している。 ②身の回りの工業製品の種類や様々な製品の改良・開発の例を総合して、工業生産が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、これからの工業の発展に向けて大切なことを消費者や生産者の立場から多角的に考えたりして、適切に表現している。	①我が国の工業生産の概要や特色について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、これからの工業の発展について消費者や生産者の立場から多角的に考えようとしている。

5 単元計画（8時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・身近な工業製品の生産の現状から、国内の工業の産地や工業生産額、工業の種類などに着目して学習問題をつくり、追究の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本の工業生産には、どのような特色があるのだろうか。</div>		・思① （ノート分析・行動観察）	○態① （ノート分析・行動観察）
2 本時	・工業地帯・工業地域の分布や生産額などに着目して、工業の盛んな地域の広がりやそこでの工業が盛んな理由を様々な条件と関連付けて捉える。	・知① （ノート分析・行動観察）		

3	・工場の規模別の割合や、東京都大田区の中小工場の生産の様子などに着目して、中小工場の生産の特色、国内の工業生産に果たす中小工場の役割を捉える。	○知① (ノート分析・ 行動観察)		
4	・海外への生産の移転など、日本の工業を取り巻く変化に着目して、日本の工業生産の現状や課題を捉える。		○思① (ノート分析・ 行動観察)	
5	・日本の自動車の海外生産の広がりに着目して、海外生産が増えている理由や、その影響について多角的に捉える。	・知② (ノート分析・ 行動観察)		
6	・国内で生産を続けている大阪府東大阪市の中小工場の優れた技術や発想力に着目して、日本の工業生産の発展につながる人々の工夫や努力を捉える。	・知② (ノート分析・ 行動観察)		
7	・競争力の高い製品や社会のニーズが高まっている製品の開発・生産に着目して、国内の工業生産の発展が人々の生活を支えている様子を捉える。	○知② (ノート分析・ 行動観察)		
8	・日本の工業生産の特色や強み、課題を捉え直し、課題解決に向けた強みの生かし方を考え、これからの工業生産の発展についての意見をもつ。		○思② (ノート分析・ 行動観察)	○態② (ノート分析・ 行動観察)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日本の工業生産の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重化学工業の生産が多く、工業のさかんな地域は、海沿いや高速道路の近くに広がっている。 ・日本の工業生産は技術力のある中小工場に支えられている。 ・海外生産が増え、国内の工場や働く人が減ってきている。 </div>				

6 本時の指導（2時間目/全8時間）

(1) 目標

工業地帯・工業地域の分布や生産額などに着目して、工業の盛んな地域の広がりやそこでの工場が盛んな理由を様々な条件と関連付けて捉え理解することができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	B に到達させるための手立て
知識・技能	工業が盛んな地域の広がりやそこでの工業が盛んな理由を捉えている。	各港や空港、高速道路の位置と工業が盛んな地域が地図上で対応していること気付かせる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 前時想起	◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価 ・工業製品の産地や種類、単元の学習問題について確認する。
	2 課題把握	・単元の学習計画から、工場の盛んな地域について学習することを確認し、課題設定をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>工業のさかんな地域は、どのような場所に広がっているのだろう。</p> </div>		

<p>展開 30分</p>	<p>3 解決の見通し (1)工業の盛んな地域の場所とその理由を予想する。 (2)課題解決に必要な資料を全体で考える。</p> <p>4 課題解決 (1)資料をもとに、工業の盛んな地域の分布と生産額について調べる。 (2)海沿いで工業生産が盛んな理由を考える。 ・個人で理由を考える。 ・全体で話し合う。 (3)内陸の地域でも工業生産が広がってきた理由を考える。 ・個人で理由を考える。 ・全体で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本地図上のどの辺りで工業が盛んそうなのかを予想させ、解決の見通しをもたせる。 ・どのような資料があれば調べられるのかを考え、解決の見通しをもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体で資料を読み取り、海沿いで工業生産が盛んであること、全体的に重化学工業（特に機械工業）が多いことを確かめる。 <p>□既習事項を活用して、海沿いに工場が広がっている理由を書かせる。</p> <p>◇全体で、海沿いに工場が広がっている理由を話し合い、港が近いので船で製品を運びやすくなっていることを共有する。</p> <p>□内陸部の交通網の地図資料やトヨタ工場を見学したことを基に、内陸にも工場が広がってきている理由を書かせる。</p> <p>◇内陸に工場が広がってきている理由をグループ対話し、話し合った内容を全体で共有する</p>
<p>終末 10分</p>	<p>5 学習のまとめ</p>	<p>□本時の学習のまとめを、場所とその理由に着目して、自分の言葉で書かせる。</p> <p>●工業の盛んな地域の広がりやそこでの工業が盛んな理由を様々な条件と関連付けて捉え理解している。</p>
<p>工業のさかんな地域は、<u>船やトラックで製品や原料を運びやすいように、海ぞいや高速道路の近くに広がっている。</u> (場所)</p>		

(4) 板書計画

<p>工業のさかんな地域はどのような場所に広がっているのだろう。</p> <p>〈予想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海に近い場所 ・高速道路に近い場所 ・人の多い場所 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 150px; height: 100px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>機械工業 (重化学工業) が多い。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>日本地図</p> </div>	<p>工業のさかんな地域は、海ぞいや高速道路の近くなど、原料や製品を運びやすい場所に広がっている。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>学習① 〈場所1〉 <u>海ぞい</u>に広がっている。 「太平洋ベルト」 ↓理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港が近いから。 ・船で原料や製品を運びやすいから。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>学習② 〈場所2〉 ・<u>高速道路の近く</u>に広がっている。 ↓理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックで原料や製品を運びやすいから。 </td> </tr> </table>	<p>学習① 〈場所1〉 <u>海ぞい</u>に広がっている。 「太平洋ベルト」 ↓理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港が近いから。 ・船で原料や製品を運びやすいから。 	<p>学習② 〈場所2〉 ・<u>高速道路の近く</u>に広がっている。 ↓理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックで原料や製品を運びやすいから。
<p>学習① 〈場所1〉 <u>海ぞい</u>に広がっている。 「太平洋ベルト」 ↓理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港が近いから。 ・船で原料や製品を運びやすいから。 	<p>学習② 〈場所2〉 ・<u>高速道路の近く</u>に広がっている。 ↓理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックで原料や製品を運びやすいから。 		